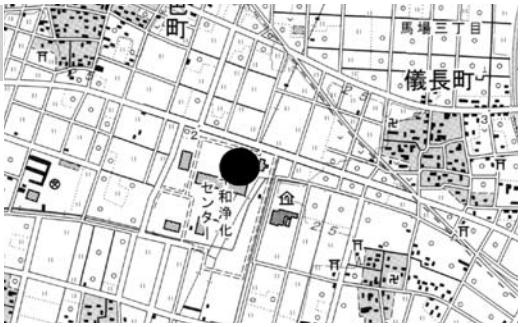
一色青海遺跡（いっしきあおかい）



調査地点（1/2.5万「清洲」）

所　在　地　稲沢市一色青海町地内
（北緯35度14分10秒 東経136度45分20秒）
調査理由　日光川上流流域下水道事業
調査期間　平成21年4月～平成22年3月
調査面積　5,500㎡
担　当　者　樋上昇・小川淳・榊原清人

調査の経過　一色青海遺跡の発掘調査は、日光川上流浄化センター内の施設拡充に伴う事前調査として、愛知県建設部下水道課より愛知県教育委員会を通じた委託事業として行った。

立地と環境　本遺跡は稲沢市の西部に位置し、地形的には、日光川と三宅川にはさまれた沖積低地に立地している。遺構検出面での標高は約1mである。

調査の概要　調査区は2003年度調査地点の北側で、東がA区、西がB区である。検出した遺構は弥生時代・鎌倉～戦国時代の２時期である。

弥生時代　下面遺構としては、弥生時代中期後葉の竪穴住居約60棟、掘立柱建物７棟、柵列３基、大溝３条、土坑多数を検出した。竪穴住居は、2003年度の調査区で確認されたものに較べて小型の住居が多いが、A区の201SIについては、長辺約11m、短辺約７mをはかる大型のものであり、同じ場所で幾度かの建て替えが認められ、多量の土器が出土している。

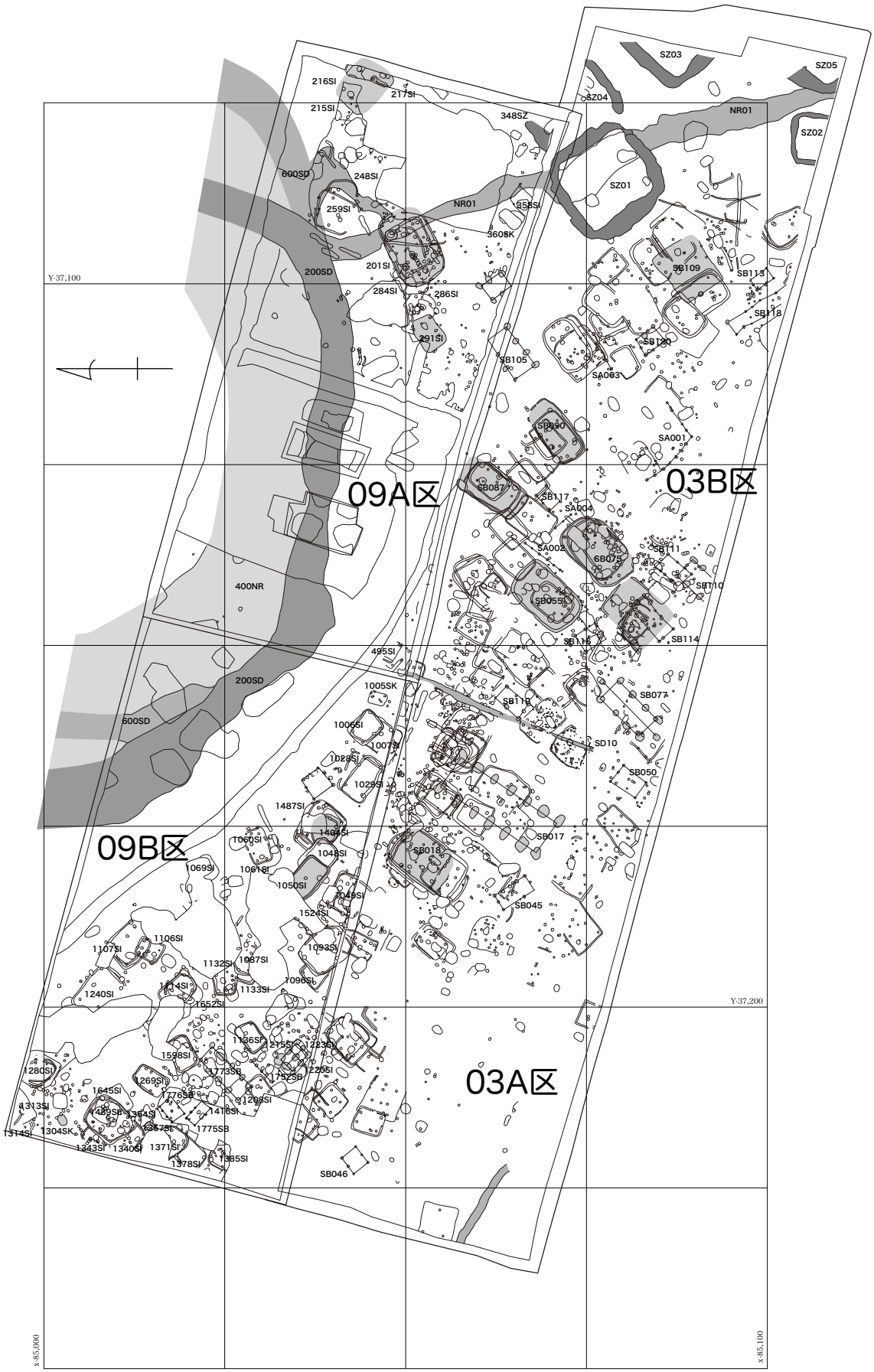
掘立柱建物では、B区の1773SBが最も大型で、桁行４間（約４m）、梁間１間（約2.4m）である。また、その東には2×2間の総柱建物1752SBがあり、その間は柵列で仕切られている。1773SBの西にも小規模な掘立柱建物が2棟あり、これら掘立柱建物群の周辺には、1399SKなど、大型の土坑が集中して掘削されている。

竪穴住居群が密集する居住域の北側では、大きく蛇行して流れる河道400NRと大溝200SD・600SDを確認した。河道400NRは、B区では北西から南東方向に向かい、A区で大きく屈曲して北へと流れる。そして、調査区の北側で再度屈曲して墓域の東側をかすめるように南流していくようである。河道400NRの南辺からは、編みカゴ２点のほか、円窓付土器の完形品などが出土している。編みカゴのうち1点はベンガラによって全面に赤彩をほどこしている。

この河道400NRが洪水層によって埋没したのちに、400NRの南肩に沿うように大溝600SDが掘削される。600SDは幅約５m、深さ約1.5mをはかる。A区東端付近では、南流する大溝NR01が分岐している。このNR01との分岐点付近で、濃尾平野低地部では珍しい二連の直柄平鍬未成品などの木製品が出土した。

この600SDも洪水によるとおもわれる砂層によって埋没し、あらたに同規模の大溝200SDが掘削されている。200SDもやはり屈曲点であるB区東端からA区にかけて遺物が集中している。多量の土器のほか、赤彩弓・竪杵・直柄平鍬未成品・斧柄などの木製品、編みカゴなどが出土している。これら400NR～600SD～200SDへの変遷は、すべてこの一色青海集落が機能していた弥生中期後葉の百数十年間のことであり、濃尾平野低地部の弥生時代集落が、いかに河川の影響を受けやすい立地であったかがわかる。

鎌倉～戦国時代　上面遺構としては、中世の土壙墓と考えられる大型土坑を多数確認している。このほか、数条単位で並行して走る小溝群をB区で検出した。これら小溝群はおおむね大型土坑群に切られており、時期的には中世前期ないしはそれ以前に遡る可能性がある。小溝群が走る一帯は周辺より地形的に若干高く、近・現代には島畠として利用されていた形跡があることから、この小溝群も畠の畝間の溝である可能性が想定できる。（樋上　昇）


09A区
03B区
09B区
03A区
SZ03
SZ05
SZ04
NR01
SZ02
SZ01
216SI
217SI
215SI
348SZ
600SD
248SI
259SI
NR01
658SI
3608K
200SD
201SI
284SI
286SI
291SI
SB109
SB113
SB118
SB120
SB105
SA003
SB090
SA001
SB087
SB117
SA004
SA002
SB075
SB111
SB110
SB055
SB115
SB114
400NR
495SI
200SD
1005SK
SB116
SB077
600SD
1006SI
1007SI
SD10
1028SI
1029SI
SB050
1487SI
1494SI
SB017
1060SI
SB018
1048SI
1069SI
1061SI
1050SI
1049SI
SB045
1524SI
1106SI
1107SI
1093SI
1132SI
1087SI
1114SI
1133SI
1096SI
1240SI
1652SI
1136SI
2155SI
1223SI
1598SI
1280SI
1773SI
1209SI
1752SB
1269SI
1645SI
1765SB
1208SI
1313SI
1489SI
1384SI
1416SI
1304SK
1375SI
1775SB
1314SI
1343SI
1340SI
1371SI
1378SI
1385SI
SB046
Y-37,100
Y-37,200
x-85,000
x-85,100

下面遺構図（1:800）

A区上面全景

A区下面全景

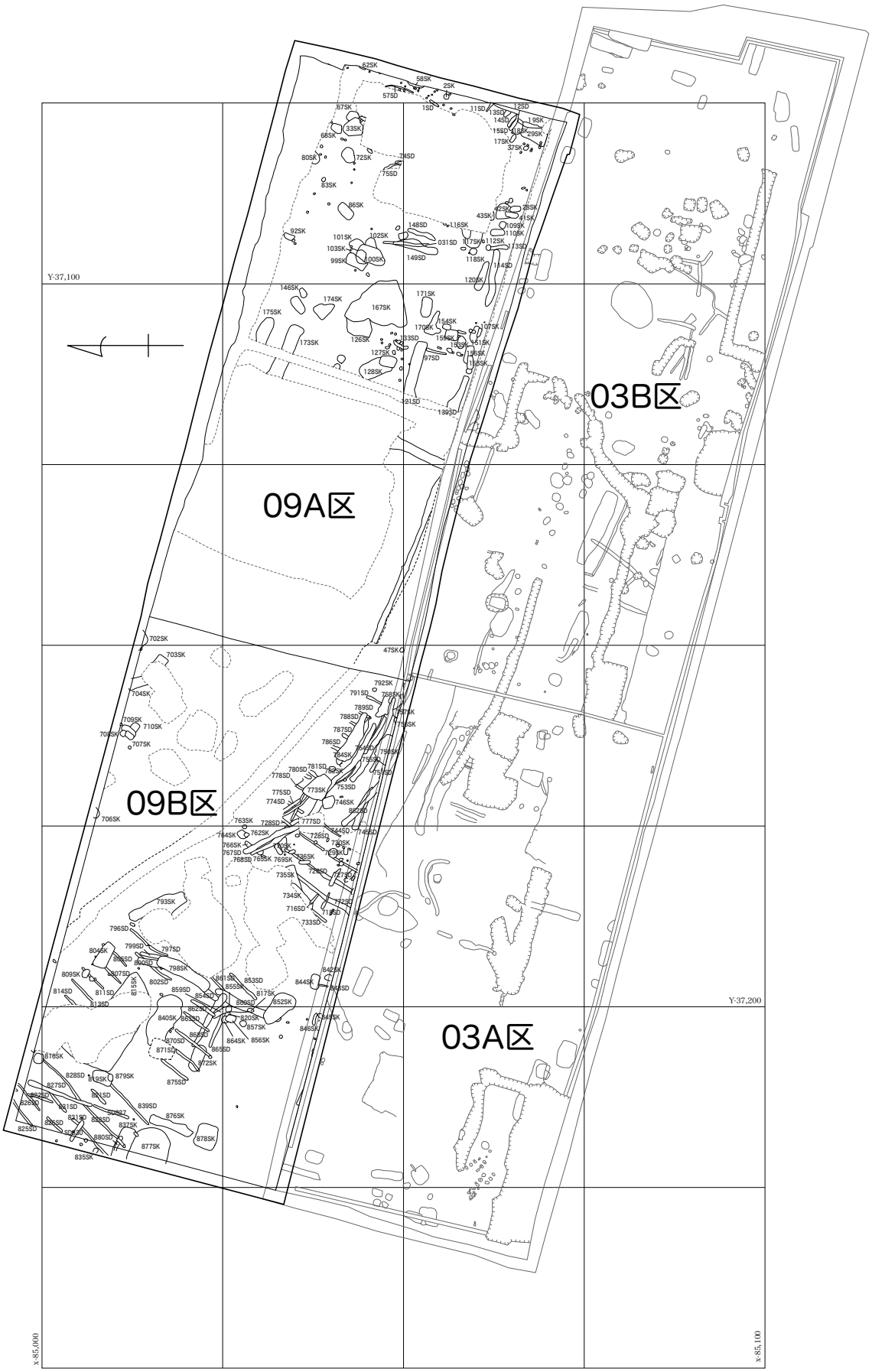
B区上面全景

1773SB（北から）

1752SB（東から）

201SI（西から）

400NR赤彩カゴ出土状況（西から）



上面遺構図（1:800）